

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

鹿角市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

秋田県鹿角市

3 地域再生計画の区域

秋田県鹿角市の全域

4 地域再生計画の目標

【地域の現状と課題】

鹿角市は、北東北3県のほぼ中央に位置しており、昭和47年4月に花輪町、十和田町、尾去沢町、八幡平村が合併し誕生した。総面積707.52km²を有し、東西の長さは約20.1km、南北は約52.3kmに及んでいる。

十和田八幡平国立公園を擁し、数多くの温泉や文化財による観光地としての魅力を有する中で、近年では、名僧行基とともに下向した楽人の舞により里人に伝承されて以来1,300年の歴史を有する「大日堂舞楽」、古くから地域の信仰を集める幸稲荷神社の祭礼として、10町内が笛、太鼓、三味線、鉦によってお囃子を奉納する「花輪ばやし（花輪祭の屋台行事）」、北海道・北東北の縄文遺跡群として世界文化遺産への推薦が決定した「大湯環状列石」など、国内外から高い評価を受けている文化財を生かした観光のまちづくりを推進している。

一方で本市の人口は、昭和30年にピークに達して以降、国内最大級の銅の産出量を誇った尾去沢鉱山の閉山によって急激に減少した。高度経済成長期やバブル経済期には職を求めて首都圏等に流出が進み、その後も一定の社会減が続いていることに加え、出生率の低下や母親世代人口の減少の影響から昭和63年には初めて出生数が死亡数を下回り、以降、自然減の拡大が続いていることが人口減少の主要因となっている。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2020年には29,423万人、その後も人口減少に歯止めがかからず、2040年には19,422万

人まで減少するものと推計されている。

人口減少は労働供給量の不足を招き、生産額が減少することで地域経済に深刻な影響を及ぼすことが懸念される。人口の減少をできるだけ緩やかにするためには、「定住人口の維持」を図ることが重要であるとともに、新たな人口の呼び込みにより、「定住人口の拡大」を進める必要がある。

【基本目標】

これらの課題に対応するため、働く場の確保により、本市で活躍したいと思う人を増やしていくとともに、子どもを産み・育てやすい環境を整備することにより、出生数を増やしていくことで自然減の抑制を図っていく。また、高齢者が住み慣れた地域で元気に社会参画し、介護が必要になった場合には地域全体で支援するなど、安心して暮らせる環境の整備を一層進めていく。さらに、いったん他市町村に転出した人々が本市に戻ってくることができ、観光や田舎暮らし体験などをきっかけに定住を促すような取組を通じて、社会減の解消を図りながら、地域の活力を創出していく。

なお、これらに取り組むにあたっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標 1 笑顔あふれる雇用をつくる
- ・基本目標 2 笑顔あふれる人の流れをつくる
- ・基本目標 3 笑顔あふれる若い世代の希望をかなえる
- ・基本目標 4 笑顔あふれる地域をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時 点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	雇用創出数(累計)	0人	350人	基本目標 1
イ	転入者数(年間)	522人(H30)	600人	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.58(H24)	1.8	基本目標 3
エ	住みごこちの満足度	43.1%(H30)	60.0%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

鹿角市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 笑顔あふれる雇用をつくる事業

イ 笑顔あふれる人の流れをつくる事業

ウ 笑顔あふれる若い世代の希望をかなえる事業

エ 笑顔あふれる地域をつくる事業

② 事業の内容

ア 笑顔あふれる雇用をつくる事業

本市の魅力を生かした商品やサービスを生み出し、それを域外に移出することで「外貨」を呼び込み、その資金を域内循環させることで地域の所得向上を図るとともに、雇用環境の創出（拡大）を図る事業。また、これらの取組の実現を目指すため、産業振興を担う人材の確保に取り組む事業。

※具体的な事業…農業構造改革推進事業、水田転換主力作物づくり強化事業、新規ブランド産品育成支援事業、地域内連携推進事業、広域観光連携推進事業、きりたんぼ発祥の地かづのPR事業、大湯環状列石魅力アップ事業、鹿角観光ふるさと館改修事業、かづの観光産業推進事業、起業・創業支援事業、産業人材育成支援事業等。なお、詳細は鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

イ 笑顔あふれる人の流れをつくる事業

移住しやすい環境を整備し、移住に結び付く情報発信やイベントを通じてUIJターンを促進するとともに、移住予備群となりうる交流人口の拡大を図る事業。

また、他自治体との差別化を図りつつ自立的な活性化を進める観点か

ら、鹿角ならではの独自の価値や誇りを具現化する「鹿角ブランド」を確立し、観光客など交流人口の拡大を図りながら地域経済を活性化し、ひいては人口の流入増、流出減をもたらすことで持続的発展につなげていく事業。

※具体的な事業…移住促進体制充実事業、移住情報発信事業、移住体験提供事業、定住促進事業、都市農村交流事業、食の交流まつり開催事業、県外大学等調査研究活動支援事業、鹿角ブランド推進事業、シティプロモーション認定事業等。なお、詳細は鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

ウ 笑顔あふれる若い世代の希望をかなえる事業

結婚を望む独身男女への出会いの場の提供と結婚に向けた支援を行うほか、保育環境の充実により待機児童ゼロを維持するとともに、出産・子育てに要する経済的な負担を軽減するなど、子どもたちが健やかに生まれ育つことのできる環境づくりを進め、若い世代が結婚・出産・子育てしやすいまちをつくる事業。

※具体的な事業…出会い応援事業、医師確保対策事業（地域中核病院支援）、放課後児童健全育成事業、ファミリー・サポート・センター事業、病児・病後児保育事業、あんしん医療推進事業、すこやか子育て支援事業、教育費支援事業、福祉医療給付事業等。なお、詳細は鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

エ 笑顔あふれる地域をつくる事業

人口減少が進行しつつも持続性ある地域社会の形成を図るため、中心市街地の魅力や快適性・利便性、交通アクセスを向上させることにより賑わいを創出し、本市における拠点性の維持を図る事業。

また、地域住民が主体性を持ち、地域課題の解決に向けた活動に取り組めるよう支援体制をさらに強化するとともに、地域活動に積極的に取り組む人材の確保と育成を進め、自治会をはじめとする地域コミュニティの活性化を図る事業。

さらには、健康ではつらつとしたシニアライフを楽しむことができ、また、何らかの支援が必要になった場合でも、住み慣れた地域で自立し

た生活ができる社会の実現に資する事業。

※具体的な事業…文化の杜交流館事業、文化財活用事業、空き家適正管理推進事業、地域公共交通維持確保対策事業、自治会コミュニティ活性化支援事業、集落支援員活動事業、自治会コミュニティ再生応援事業、かつのでわくわく健康づくり推進事業、高齢者日常生活支援事業、認知症総合支援事業等。なお、詳細は鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

5,000 千円（2020 年度～2024 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

計画の効果的な進め方に反映させるために外部評価機関として設置している鹿角市行政評価市民会議を活用して評価を実施（毎年度9月）するとともに、市の政策アドバイザーである大学教授3名から総括的に助言を受け、評価の客観性を確保する。また、当該評価を受け、必要に応じて本計画の見直しを行うとともに、評価結果は検証後速やかに鹿角市公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

5－3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2020 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで